

## 議長記者会見（第40回）会見録

日時：令和3年9月29日（水）

午後2時15分から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室



会見を行う向出議長（右）と安居副議長（左）

ご苦労様です。

私ども正副議長として2回目の定例会が無事終了しました。

今議会までを振り返って、少し所感を述べさせていただきます。

最初に、新型コロナウイルス感染症についてであります。

新型コロナウイルス感染症については、昨年2月に本県で初めて感染者が確認されて以来、1年7か月が経過しておりますが、改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、感染された方々に心からお見舞いを申し上げたいと思います。

また、過酷な環境のもと、昼夜を問わず、高い使命感を持って献身的に感染者の治療を行っていただいている医療従事者や関係の皆様方に心より感謝を申し上げます。

ご承知のとおり、全国的に感染が再拡大し、本県においては、「まん延防止等重点措置」

が、5月16日から適用され、6月13日に一旦解除されておりましたが、先月2日から再び適用されました。

このため、県民の皆様方に対する外出自粛の要請や飲食店に対する営業時間の短縮の要請など、人の流れを徹底的に抑制するとともに、ワクチン接種を推進するなど、様々な取り組みが行われました。

県民や事業者の皆様方には、長期間にわたり、大変なご不便を強いることとなりましたが、こうした対策にご協力をいただいたことに加え、ワクチン接種の効果により、本県の感染状況等に関するモニタリング指標に改善が見られることなどから、このたび、明日30日をもって、本県の「まん延防止等重点措置」は解除されることとなりました。

これまで、感染防止対策にご協力をいただいた皆様方に、改めて心より感謝を申し上げます。

しかし、感染力がさらに強い変異株が懸念されるなど、再度の感染拡大のリスクがなくなったわけではないことから、県議会としても、引き続き油断することなく、感染防止を徹底しながら、経済を回復させていくため、様々な施策が機を逸することなく実行できるよう、知事・執行部とは連携を図りながら、全力で取り組んでいく所存です。

次に、退任が予定されている菅首相についてであります。

菅首相は、来月4日をもって退任されるとのことですが、就任からのこの1年あまり、新型コロナウイルス感染症対策に奔走されてこられました。この対策のためのワクチン接種の推進をはじめ、デジタル庁の設置に代表されるデジタル化の推進や、東京オリンピック・パラリンピックの開催など、多くの成果を上げられました。これまでのご尽力に感謝を申し上げます。

次に、東京オリンピック・パラリンピックについてであります。東京オリンピック・パラリンピックでは、過去最多となる22名の本県ゆかりの選手が出場され、このうち、過去最多となる5名の選手が見事メダルを獲得され、本県としては初めてとなる2つの金メダルを獲得されました。

こうした功績をたたえ、オリンピック・女子レスリングで、金メダルを獲得されました、川井梨紗子、友香子両選手には、先月30日に石川県県民栄誉賞が贈呈され、また、パラリンピック・男子車いすバスケットボールで、銀メダルを獲得されました、宮島徹也選手には、本日午前に石川県スポーツ特別賞が贈呈されました。

さらに、銀メダルを獲得されました、オリンピック・女子バスケットボールの赤穂ひまわり選手と、パラリンピック・ボッチャの田中恵子選手とスポーツアシスタントの田中孝子さんにも、石川県スポーツ特別賞が贈呈されることが決定されております。

選手の皆様方におかれましては、新型コロナウイルスの影響で練習や実践の場が限られる厳しい状況を乗り越え、大舞台で力の限りを尽くされ、多くの県民や国民に大きな感動と、夢、希望を与えていただいたことに、心から敬意を表するものであります。

次に、今定例会を振り返っての感想であります。今定例会では、知事からは、大型プロ

ジェクトとなる西部緑地公園の再整備に係る調査や、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算案等の議案の提出がありました。

各議員からは、西部緑地公園の再整備や、新型コロナウイルス感染症対策のほか、スポーツ振興、防災・減災対策など多岐にわたる質問がありました。

執行部においては、今定例会での議員からの質問の趣旨を踏まえ、施策の実行に取り組んでいただきたいと思います。

最後に、今定例会中に可決された意見書についてであります。 「意見書等調整会議」におきまして、調整等された結果、各会派から提案のあった4件の意見書のうち、「新型コロナウイルス等の感染症対応を踏まえた地域の医療提供体制の確保・充実を求める意見書」など2件が可決されました。

可決された意見書2件については、議会としていずれも国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出することとしております。

私からは、以上であります。

#### <質疑応答>

記者

自民党の総裁がもうすぐ決まりますが、新総裁にはどういったことを期待されますか。

向出議長

県としては、地方のことを十分頭においた形での施策を出していただきたいし、今は東京一極という形は大分緩んではきましたが、やはり地方にいる我々が見る目と、国の方で見ると多少違うと思います。そんな意味から、各地方に対するいろいろな配慮というものを十分考慮していただいた施策を考えていただきたいと思いますね。

安居副議長

どなたが総理になられたとしても、まず、コロナが少し全国的に収束に向かう中で、コロナの感染を拡大させないようにしながらも、経済活動を進めていかなければならない。地方それぞれに特徴がありますので、地方の特徴を活かした経済の活性化をしていけるように、総理には各地域の声を聞いたアフターコロナの対策を望みたいと思っています。

もちろん、私も議会も、執行部と協力をしながら、国の方へ地域の実情を伝え、予算を獲得していかなければと思っていますし、各候補の方はそれぞれ総裁選に臨むにあたってご立派な主張をしていらしたので、総裁選で当選してなられたからには、どなたがなられても、きちんと公約で発言されたことが実行できるように、実行力豊かな総理になれることを望みたいと思います。

以 上